

## 本研究を活用した今後の展開

1. 参加者の方の腸内フローラ、食生活情報、運動情報など

→ 改善を意識した日常生活(来年度、再測定予定)

2. 各地域の特色

他の解析地域との比較(例、東京 vs 他の地域)

解析地域内部での比較(例、山間部 vs 海沿い)

→ データに基づく生活・健康指導の検討

3. 健康増進、疾患予防・改善への展開

4. 薬(漢方薬など)の効きやすさ、食事の効果との関連

5. かかりつけ医、かかりつけ薬局(健康サポート薬局)、セルフメディケーション、介護施設などとの連携

→ 社会実装ならびに市民の方への発展を検討

6. 地場産業との連携や地域の特産品との関連

→ 科学的エビデンスに基づく有効性の検証

先進健康エリアとしての周南市のさらなる発展へ